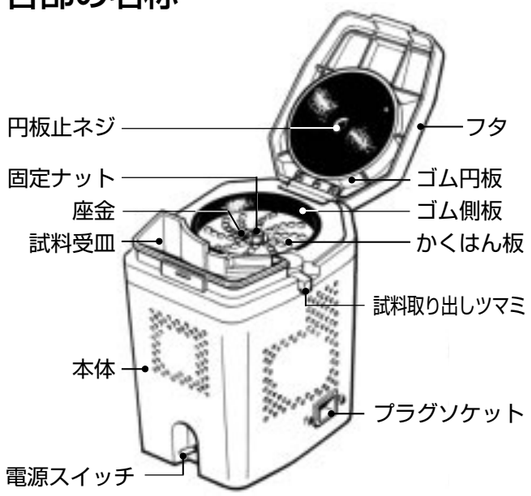
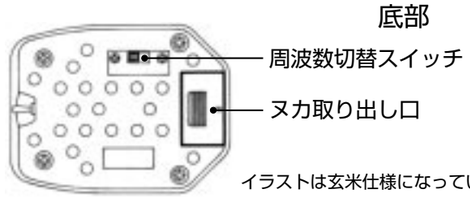
小型精米器 パーレスト

取扱説明書

各部の名称



底部



イラストは玄米仕様になっています。

掃除の方法/保管

1.ヌカの取り出し

発生したヌカなどは本体後部に溜まります。40～50回のとう精で、ほぼ一杯になりますので、底部の「ヌカ取り出し口」を開けて捨ててください。

2.ヌカやゴミの掃除

数回とう精すると、ゴム円板やヤスリ円板にヌカなどが付着し、かくはん板の周囲などにもヌカやゴミが溜まります。付属のヘラや筆で掃除してください。

3.保管

保管する場合は、かくはん板、側板、とう精板を外し、「ヌカ取り出し口」の内部とともによく掃除したうえ、直射日光の当たらない、乾燥したところで保管します。

Kett 株式会社ケツト科学研究所

東京本社　東京都大田区南馬込1-8-1 〒143-8507
TEL(03)3776-1111　FAX(03)3772-3001

大阪支店　大阪市東淀川区東中島4-4-10 〒533-0033
TEL(06)6323-4581　FAX(06)6323-4585

札幌営業所　札幌市西区八軒一条西3-1-1 〒063-0841
TEL(011)611-9441　FAX(011)631-9866

仙台営業所　仙台市青葉区二日町2-15 二日町鹿島ビル 〒980-0802
TEL(022)215-6806　FAX(022)215-6809

名古屋営業所　名古屋市中村区名駅5-6-18 伊原ビル 〒450-0002
TEL(052)551-2629　FAX(052)561-5677

九州営業所　佐賀県鳥栖市布津原町14-1 布津原ビル 〒841-0053
TEL(0942)84-9011　FAX(0942)84-9012

URL http://www.kett.co.jp/　E-mail kett-sales@kett-jp.com

●製品改良のため、仕様や外観の一部を予告なく変更することがあります。

0105･MA Film/HIE･0101-002K

付属品の名称

付属品ケース　電源コード　ヘラ(工具)

スプーン
(玄米:1杯/約10g)　ブラシ　筆

大麦とう精用交換部品

かくはん板　ヤスリ円板　金属側板

座金(大麦用)

準備

1.周波数の切替スイッチを合わせます。

周波数切替スイッチをご使用地域の周波数に合わせてください。周波数が合っていないと、正常なモータ回転数が得られず、適正なとう精ができません。

2.とう精する品目に合わせて、付属の部品をセットします。

標準では玄米用にセットされています。大麦をとう精する場合には、大麦とう精用部品をセットしてください。(参照:大麦とう精部品の取り付け方法)

3.電源プラグを本体のプラグソケットに差し込み、100V電源に接続します。

とう精方法

1.試料を付属のスプーンで1杯採り、かくはん板の上にのせます。

注意1:とう精の適正量は一回あたり10gです。玄米を付属のスプーンですりきり1杯採ると約10gです。

注意2:試料を過剰に入れたり、長時間使用すると、モータが異常過熱して自動的に停止します。このようなときは、約1時間ほどすずしい場所で放冷してください。熱が下がると、再回転させることができます。

2.電源スイッチを入れます。

注意1 :このとき、フタは必ず確実に閉めておいてください。

注意2 :ヌカやゴミが残っていますと、閉まらない場合がありますので、よく掃除してください。

3.とう精に要する標準的な時間は以下です。

玄米　30～40秒
大麦 180～240秒

注意　:試料や水分量などによって、とう精時間は変動します。上記の時間 を参考にして、とう精時間を決めてください。

4.とう精の終了と、試料の移動。

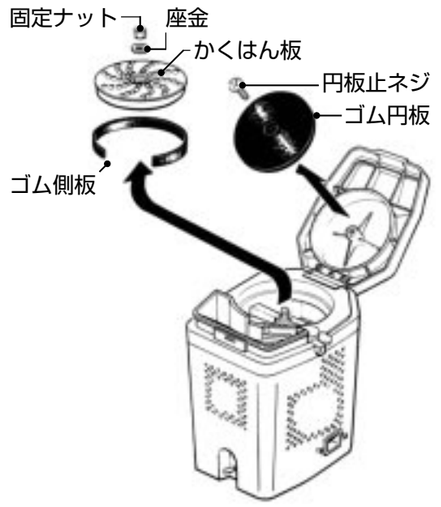
とう精が終了したら、試料を試料受皿に移動させます。モータを回転させたまま、試料取り出しツマミを押すと、試料は遠心力で試料受皿に排出され移動します。

5.電源スイッチを制動側に入れ、モータの回転を止めます。フタを開け試料受皿を引き上げます。

注意　:試料受皿はフルイとしてもご利用できますので、軽く振って付着しているヌカなどを除去してください。

大麦とう精部品の取り付け方法

1.付属のヘラ(工具)で、玄米とう精部品(座金、かくはん板、ゴム側板、ゴム円板)を外します。



2.大麦とう精用部品(金属側板、かくはん板、座金、ヤスリ円板)を固定します。

注意1:部品は金属側板･かくはん板･座金･ヤスリ円板で1セットになっています。
必ず全部取り替えてください。

注意2:取り付けた部品が緩まないよう、付属のヘラ(工具)でしっかり固定してください。

注意3:座金は玄米用より厚い大麦用を使用します。